



研究キーワード 土壌侵食, 土壌劣化, 物質循環, 集水域, 地理情報システム

角野 貴信

准教授

KADONO, Atsunobu

所属…環境学部 環境学科 大学院 環境経営研究科 環境学専攻

■専門分野 土壌学, 生物地球化学

現在の研究テーマ

- ・水系に移動した土壌物質を利用して流域内の生態系が受けた変化を予測する研究
- ・土壌有機物の分解過程をモデル化することにより陸域生態系の炭素動態を明らかにする研究

<https://sites.google.com/site/kadonoslab/>
<http://yumenavi.info/lecture.aspx?GNKCD=g007308>

kadono@kankyo-u.ac.jp

■著書

- ・水・土壌の基礎知識とツーリズム (共著 (第2章を単著)) 「自然観光の科学」朝倉書店, 12-19. 2025
- ・持続可能な社会における土壌資源管理とその指標化 (共著 (06章を単著)) 「SDGsを考える」ナカニシヤ出版, pp. 99-111. 2020
- ・10.4 土壌劣化と砂漠化 (共著 (10.4節を単著)) 「改訂 土壌学概論」朝倉書店, pp. 167-173. 2020
- ・03土の黒さから考える自然資源の保全と利用の適切なバランス (共著 (03章を単著)) 公立鳥取環境大学環境学部「こちら公立鳥取環境大学環境学部です!」今井出版, pp. 28-34. 2019

■論文・報告

- ・有機質資材を施用した山田錦栽培田における玄米収量と土壌の関係 (共著) 地域イノベーション研究 10, 12-20. 2023
- ・有機質資材連用年数が水稻による窒素吸収量及び水田土壌中の窒素含量に与える影響 (共著) 地域イノベーション研究 9, 11-16. 2022
- ・有機質資材の投入が酒造好適米の生産環境に与える影響 (共著) 地域イノベーション研究 8, 22-26. 2021

■所属学会 日本土壌肥料学会, 日本ペドロロジー学会, 日本地理学会, 日本水環境学会

■取得学位 博士 (農学) (京都大学)

■略歴

- 2008年 3月 京都大学農学研究科博士後期課程修了, 博士 (農学)
- 2008年 4月 日本原子力研究開発機構博士研究員
- 2009年 1月 首都大学東京都市環境科学研究科助教
- 2010年 8月 米国オハイオ州立大学博士研究員
- 2011年 9月 鳥取環境大学人間形成教育センター講師
- 2016年 4月 公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科准教授

■主な担当科目 基礎土壌学, 環境土壌学, 水環境学, 化学実験

《先生からの一言》

土壌がその母材である岩石などから生成するスピードに比べ、人が利用して劣化させてしまう速度があまりにも速く、そのアンバランスが問題になっています。いかにすればそのバランスを回復し、維持し続けられるのか、一緒に考えてみませんか。